

会長あいさつ

東京秋工会 会長

三平 俊悦

(昭和39年建築科卒)



東京秋工会の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常日頃から会の運営につきまして、物心両面にわたり、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。色々とあったこの1年の出来事を振り返ってみます。

- ① 昨年の9月26日に開催された、母校創立110周年記念式典・祝賀会に、東京秋工会から20数名が出席しました。会場に入ると、在校生から大きな声で礼儀正しい挨拶をされました。式典は生徒が主役で進行され、メリハリの利いた開会、閉会宣言など、素晴らしい式典でした。祝賀会では、佐竹秋田県知事が、母校の建替えを金砂の地に決めたいきさつなどお話しいただきました。また、東京秋工会から、民謡・詩吟の各同好会が、秋田県民歌の合吟など披露して300人の出席者と交流し、親睦を深めました。
- ② 第29回国民文化祭が昨年10月秋田で開催され、10月4日には皇太子殿下ご臨席のもと開会式が盛大に挙行されました。東京秋工会関係者が15名参加しました。オープニングフェスティバルでは「発見×創造もうひとつの秋田」のテーマのもと、秋田の自然・文化・伝統芸能の豊かさと現代の音楽と融合させた素晴らしい演奏がありました。県外からの来訪者も含め、多数の参加者が来場され、今後の観光や地域の活性化が期待されます。
- ③ 今年は悲しい知らせもありました。永年にわたって本部同窓会長として、私たちの取り組みをご指導いただいた、太田光重氏が逝去されました。東京秋工会の総会・懇親会にも毎年出席され、類まれなる話術と秋田弁のご挨拶で、いつも私たちに感銘を与えて下さいました。私個人としても、同じ町内に育ち、旭南小学校、成和中学(後に山王中学)、秋工と、全く同じ道を歩みました。

8年先輩で、一緒に遊んだことはありませんが、私が東京秋工会の会長就任の折にも、「お互い縁があるな、母校のために頑張ろう。」と励まされました。秋工校歌の建学精神は故太田光重氏そのものです。謹んで太田光重氏のご冥福をお祈りします。合掌。

11月7日(土)アルカディア市ヶ谷(私学会館)に於いて、平成27年度東京秋工会総会・懇親会(金砂健児の集い)を開催いたします。お陰さまで、今回は第75回の記念すべき集いとなりました。開会に先立ち、恒例となった全員起立での校歌斉唱を行います。性別、年齢を問わず、大きな声で歌っています。これは、初対面同士であっても、わずかの時間の間に在学時代に思いを巡らせ、皆が秋工卒業生であるという一体感に包まれるような感じがします。学校の校舎・組織・教育内容等が、時代とともに変化しても、校章と校歌は学校のシンボルとして永遠に不滅であると思います。今年もより多くの皆様にご参加いただき、校歌・応援歌を声高らかに歌って同窓の交流と絆を深めたいと考えます。

また、シニアライフについてですが、心身ともにくたびれた自分を癒すには、自分のしたいことだけすることが良い、と言われます。東京秋工会には、各種の同好会(囲碁・ゴルフ・ハイキング・詩吟尺八・民謡・写真・釣り)が活動しております。興味をお持ちの方は、仲間に入って大いに楽しみませんか。

秋田県のことについて触れます。郷土秋田県は人口減少に歯止めがかからず、数年後には100万人を割ると予想されています。県では、「人口減少問題の克服」と「地方創生」の2大テーマに取り組むため、在京県人会等との連携強化を図っております。東京秋工会としても、協同体制の構築を進め、後方支援の役割を果たしたいと考えております。皆様方のご協力、ご支援を宜しくお願い致します。

最後に、東京秋工会をさらに発展させ、次世代に継承できる同窓会とするために、若手会員の入会、並びに若手幹事の増員など、若いエネルギーの増強が望まれます。役員は種々の会合に参加し、情報収集や同窓生への参加を呼びかけて行ってまいります。さらに新卒者・年代ごとの各科クラス会・クラブOB会等に参加されている皆さんが、東京秋工会に参加していただける様に支援活動を行います。そして、若年層も大先輩も気楽に参加して頂き、満足いただける同窓会を目指し、役員一同一層努力してまいります。



不動産・建設関連事業を核に
お客様が求めるビジネス&ライフを
サポートします。

合同会社 アーバン・コンサルタント

代表 三平 俊悦 (昭和39年建築科卒)

Shunetsu Mihira

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹855-3 TEL/FAX.044-852-0891
携帯.090-6930-1389 E-mail shunmihira1945@gmail.com

宅地建物取引主任者・管理業務主任者・二級建築士・リスクマネジメント協会RMF資格